

令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 栄校区

開催年度回次	令和4年度第15回	開催月日	9月25日	開催校区	栄校区	開催場所	栄校区市民館
議 題				市の回答			
<p>1. 消防団員の確保について</p> <p>消防団活動において、団員の確保が大変困難な状況です。その主な要因としては、過去の消防団の悪いイメージや、家庭など周囲の理解が得られないことが考えられます。しかし、現在の若者を中心に防災ボランティアに多くの人たちが参加するなど、基本的な機運はあると思われます。</p> <p>今後、消防団員を募集していく際には、税の減免等の画期的な募集条件を提示することが必要ではないでしょうか。</p>				<p>消防本部総務課</p> <p>消防団員の確保が大変厳しい状況は認識しております。</p> <p>ご提案の税の減免等につきましては、制度上困難と考えますが、消防団活動の負担軽減や、現在展開している団員の加入促進につながる次の取り組みを更に推進させるなど、入団しやすい環境整備に努めてまいりたいと思います。</p> <p>① ほの国消防団・消防団応援事業 消防団員に対する福利厚生事業として主旨に賛同し登録いただいた飲食店等を対象に団員が一定のサービスを受けることができる制度です。</p> <p>② 学生消防団活動認証制度・消防団活動認証制度 本市の消防団員として1年以上活動を行った大学生などの就職活動を支援する制度です。</p> <p>③ 消防団協力事業所表示制度 従業員等が消防団員として入団しているなど積極的に消防団活動へ協力していただいている事業所に対し、地域貢献の証として表示証を交付する制度です。</p> <p>一方、他県では、一定の要件を満たしている消防団協力応援事業所に対しての支援として減税制度を設けている県も見受けられるため、愛知県に対し、本制度の導入の働きかけを行っていきたいと考えています。</p>			

開催年度回次	令和4年度第15回	開催月日	9月25日	開催校区	栄校区	開催場所	栄校区市民館
議 題				市の回答			
<p>2. 市民活動に対する補償制度について</p> <p>町内会の見守り活動において、特に高齢者や子供たちが行方不明になった際の捜索活動に町民の参加は不可欠です。高齢者の捜索には老人クラブなど高齢者の協力も不可欠ですが、活動中の高齢者は自転車事故など軽微な事故に遭う可能性があります。</p> <p>このような市民活動に対して豊橋市市民活動総合補償制度の適用を検討し、市民協働課に照会したところ、補償対象要件の「①活動が計画的・継続的に行われていること」に該当しないため、適応できないとの返事でした。</p> <p>このようなケースにおいて町民が安心して活動に参加できるようにするため、新たな制度により市民活動補償を検討していただきたいです。</p>				<p>市民協働推進課</p> <p>豊橋市市民活動総合補償制度は、団体によるボランティア活動や自治会活動など市民活動中の事故を補償する制度で計画的・継続的に行われている活動を対象としております。そのため、今回のような突発的なものについては、対象外になります。</p> <p>今後、行方不明者の捜索を事業計画などで自治会の事業として位置付けることが可能であれば、計画的・継続的な活動とし、補償対象にできるよう協議していきます。</p>			

開催年度回次	令和4年度第15回	開催月日	9月25日	開催校区	栄校区	開催場所	栄校区市民館
議 題				市の回答			
<p>3. 山田川の河川改修及び遊歩道化について</p> <p>山田川は過去に3度の氾濫を繰り返し、河川改修が行われて現在の河川形態となりました。農業ため池である中山田池の廃止や周辺の都市化に伴う下水道の普及により、現在では主として雨水排水のみの活用となっており、最高水位も150cmほどです。</p> <p>また、河川の途中には岸壁の高低差が5mもあり、高い方の岸壁ぎりぎりまで住宅がせり出しており、擁壁が整備されてから60年ほどが経過していることから崩落の危険性も有しています。</p> <p>これらのことから、山田川の河川改修をしていただくとともに、暗渠(あんきょ)による遊歩道化を推進していただきたいです。</p>				<p>河川課</p> <p>山田川は、小松町字北郷から二級河川柳生川との合流部に至る約1.4kmの豊橋市が管理する普通河川です。この山田川は、雨水と汚水を一緒に流す合流式下水道が整備された区域内にあり、晴天時には流水がない河川となっていますが、雨天時には、山田川沿線の道路や宅地に降った雨の排水先になっております。</p> <p>山田川の改修については、「豊橋市河川等維持整備計画」にもとづき、定期的に点検を行い、その結果により、必要に応じて修繕や改修を行うこととしております。</p> <p>また、河川の暗渠化は、直接河川の施設を確認できなくなるなど、維持管理に支障が出るため、現状の形態で、適切に施設を管理することにより市民の安全・安心の確保に努めてまいります。</p>			